

点検報告関係様式の改正案

書面会議時点の変更点(赤)

意見公募等を踏まえた変更点(青)

点検報告関係様式の改正案(平成16年消防庁告示第9号別記様式第1)

現行

別記様式第1

消防用設備等(特殊消防用設備等)点検結果報告書

年 月 日

消防長(消防署長)(市町村長) 殿

届出者

住 所 _____

氏 名 _____ ㊟

電話番号 _____

下記のとおり消防用設備等(特殊消防用設備等)の点検を実施したので、消防法第17条の3の3の規定に基づき報告します。

記

防火対象物	所在地					
	名称					
	用途					
構造・規模	造	地上	階	地下	階	
	床面積	m ²	延べ面積	m ²		
点検期間	年 月 から 年 月 まで (年 月 から 年 月 まで)					
消防用設備等(特殊消防用設備等)の種類等						
点検票	別添のとおり					
点検者	住所			社名		
	氏名			電話番号		
	消防設備士の種類等	種類	交付知事	交付年月日	講習受講状況	
		甲・乙	都道府県	第 号	受講地 受講年月	
消防設備点検資格者	種類	交付知事	交付年月日	再講習受講状況		
	特・第1・第2種	都道府県	第 号	受講地 受講年月		
※受付欄	※経過欄		※備考			

備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 2 点検者が複数の場合は、別記様式第3に記入し、添付すること。
 3 消防用設備等又は特殊消防用設備等ごとの点検票を添付すること。
 4 ※印欄は、記入しないこと。
 5 点検期間のうち、消防用設備等と同時に特殊消防用設備等を点検する場合、その点検期間を()へ記入すること。
 6 住所、社名及び電話番号の欄は、点検者が会社(会社以外の法人に所属する場合は当該法人)に所属する場合には、当該所属する会社の住所、社名及び電話番号を記入すること。

氏名欄の括弧書きを削除
意見№1

「有資格者点検」欄を削除
意見№2、№4

点検報告時に必要の無い
情報等であるため削除

チェックボックスを現行
のとおり空欄へ変更
意見№3、№5

別記様式第1の点検者
欄を削除し、資格者の情
報はすべて別記様式第3
へ記載。

上記欄削除及び変更
に伴い備考を修正

最終改正(案)

別記様式第1

消防用設備等(特殊消防用設備等)点検結果報告書

年 月 日

消防長(消防署長)(市町村長) 殿

届出者

住 所 _____

氏 名 _____ ㊟

電話番号 _____

下記のとおり消防用設備等(特殊消防用設備等)の点検を実施したので、消防法第17条の3の3の規定に基づき報告します。

記

防火対象物	所在地					
	名称					
	用途					
構造・規模	造	地上	階	地下	階	
	床面積	m ²	延べ面積	m ²		
点検期間	年 月 から 年 月 まで (年 月 から 年 月 まで)					
消防用設備等(特殊消防用設備等)の種類等	<input type="checkbox"/> 消火器具 <input type="checkbox"/> 屋内消火栓設備 <input type="checkbox"/> スプリンクラー設備 <input type="checkbox"/> 水噴霧消火設備等(<input type="checkbox"/> 水噴霧 <input type="checkbox"/> 泡 <input type="checkbox"/> 不活性ガス <input type="checkbox"/> ハロゲン化物 <input type="checkbox"/> 粉末) <input type="checkbox"/> 屋外消火栓設備 <input type="checkbox"/> 動力消防ポンプ設備 <input type="checkbox"/> 自動火災報知設備 <input type="checkbox"/> ガス漏れ火災警報設備 <input type="checkbox"/> 漏電火災警報器 <input type="checkbox"/> 消防機関へ通報する火災報知設備 <input type="checkbox"/> 非常警報器具 <input type="checkbox"/> 非常警報設備 <input type="checkbox"/> 避難器具 <input type="checkbox"/> 誘導灯 <input type="checkbox"/> 誘導標識 <input type="checkbox"/> 消防用水 <input type="checkbox"/> 排煙設備 <input type="checkbox"/> 連結放水設備 <input type="checkbox"/> 連結送水管(共同住宅用連結送水管) <input type="checkbox"/> 非常コンセント設備(共同住宅用非常コンセント設備) <input type="checkbox"/> 無線通信補助設備 <input type="checkbox"/> 非常電源(<input type="checkbox"/> 専用受電設備 <input type="checkbox"/> 自家発電設備 <input type="checkbox"/> 蓄電池設備 <input type="checkbox"/> 燃料電池設備) <input type="checkbox"/> 配線 <input type="checkbox"/> 総合操作盤 <input type="checkbox"/> パッケージ型消火設備 <input type="checkbox"/> パッケージ型自動消火設備 <input type="checkbox"/> 共同住宅用スプリンクラー設備 <input type="checkbox"/> 共同住宅用自動火災報知設備 <input type="checkbox"/> 住戸用自動火災報知設備 <input type="checkbox"/> 共同住宅用非常警報設備 <input type="checkbox"/> 特定小規模施設用自動火災報知設備 <input type="checkbox"/> 加圧防排煙設備 <input type="checkbox"/> 複合型居住施設用自動火災報知設備 <input type="checkbox"/> 特定駐車場用泡消火設備 <input type="checkbox"/> 特殊消防用設備等()					
点検票	別添のとおり					
点検者	住所			社名		
	氏名			電話番号		
	消防設備士の種類等	種類	交付知事	交付年月日	講習受講状況	
		甲・乙	都道府県	第 号	受講地 受講年月	
消防設備点検資格者	種類	交付知事	交付年月日	再講習受講状況		
	特・第1・第2種	都道府県	第 号	受講地 受講年月		
※受付欄	※経過欄		※備考			

備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 2 有資格者点検欄については消防法施行令第38条第2項に該当する場合は「要」に○を、該当しない場合は「不要」に○を付けること。
 3 □印のある欄については、該当の□印に✓を付けること。
 4 消防設備士又は消防設備点検資格者が点検を実施した場合は、点検を実施した全ての者の情報を別記様式第3に記入し、添付すること。
 5 消防用設備等又は特殊消防用設備等ごとの点検票を添付すること。
 6 ※印欄は、記入しないこと。

点検報告関係様式の改正案(平成16年消防庁告示第9号別記様式第2【抜粋】)

現行

別記様式第2

消防用設備等(特殊消防用設備等)点検結果総括表

(その1)

名称			防火管理者	
所在地			点検実施責任者	
点検種別	機器点検・総合点検・(設備等設置維持計画による点検)	点検年月日	年月日～年月日	
設備名	点検結果		措置内容	立会者
	判定	不良内容		
	良・不良			
	良・不良			
	良・不良			
	良・不良			
	良・不良			
	良・不良			
	良・不良			

報告義務者以外の押印の印を削除

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 2 判定欄は、正常の場合は「良」に、不良の場合は「不良」に○印を付し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 3 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

最終改正(案)

別記様式第2

消防用設備等(特殊消防用設備等)点検結果総括表

(その1)

名称			防火管理者	
所在地			点検実施責任者	
点検種別	機器点検・総合点検・(設備等設置維持計画による点検)	点検年月日	年月日～年月日	
設備名	点検結果		措置内容	立会者
	判定	不良内容		
	良・不良			
	良・不良			
	良・不良			
	良・不良			
	良・不良			
	良・不良			
	良・不良			

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 判定欄は、正常の場合は「良」に、不良の場合は「不良」に○印を付し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 3 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

点検報告関係様式の改正案(平成16年消防庁告示第9号別記様式第3)

現行

別記様式第3

消防用設備等(特殊消防用設備等)点検者一覧表

点 検 者							設 備 名	
住所		社 名						
氏名		電話番号						
資格	消防設備士	種類等	交付知事	交付年月日	講習受講状況			
		甲・乙 種 類	都道府県	交付番号	受講地	受講年月		
				年月日 第 号	都道府県	年 月		
		消防設備点検資格者	種 類		交付年月日	再講習受講状況		
					交付番号	受 講	年 月	
			特 種		年月日	年 月		
	第 号				年 月			
	年月日				年 月			
	第 号				年 月			

一人が複数の資格を所持している場合の記載方法が不明瞭であったため、明瞭に記載できるよう全体を変更

電気工事士等が必要となる点検に対応するため、備考欄を追加
意見№6

「再講習年月日」を「有効期限」に変更
意見№7

最終改正(案)

別記様式第3

消防用設備等(特殊消防用設備等)点検者一覧表

点 検 者							設 備 名	
住所		氏 名						
社 名		電話番号						
資格							消防設備士	
種類等		交付年月日	交付番号	交付知事	講習受講年月			
甲 種 特 類		年 月 日			年 月			
甲・乙種 1 類		年 月 日			年 月			
甲・乙種 2 類		年 月 日			年 月			
甲・乙種 3 類		年 月 日			年 月			
甲・乙種 4 類		年 月 日			年 月			
甲・乙種 5 類		年 月 日			年 月			
乙 種 6 類		年 月 日			年 月			
乙 種 7 類		年 月 日			年 月			
備考								
資格							消防設備点検資格者	
種類等		交付年月日	交付番号	有効期限				
特 種		年 月 日		年 月 日				
第 1 種		年 月 日		年 月 日				
第 2 種		年 月 日		年 月 日				

- 備考
- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 住所、社名及び電話番号の欄は、点検者が会社(会社以外の法人に所属する場合は当該法人)に所属する場合には、当該所属する会社の住所、社名及び電話番号を記入すること。
 - 資格の欄は、消防設備士又は消防設備点検資格者の種類等、交付年月日、交付番号、交付機関、最新の講習受講年月、有効期限を記載すること。
 - 誘導灯及び誘導標識の点検を実施した者は、備考欄に電気工事士法(昭和35年法律第139号)第3条に規定する電気工事士免状又は電気事業法(昭和39年法律第170号)第44条第1項に規定する第一種電気主任技術者免状、第二種電気主任技術者免状若しくは第三種電気主任技術者免状のいずれかの免状の種類、交付番号及び交付年月日を記載すること。(第二種消防設備点検資格者の免状の交付を受けている者を除く。)

- 備考
- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 住所、社名及び電話番号の欄は、点検者が会社(会社以外の法人に所属する場合は当該法人)に所属する場合には、当該所属する会社の住所、社名及び電話番号を記入すること。
 - 資格の欄は、消防設備士又は消防設備点検資格者の区分、種類等、交付年月日、交付番号、交付機関、最新の講習(再講習)受講年月日を記載すること。

点検報告関係様式の改正案(昭和50年消防庁告示第14号【抜粋】)

現行

別記様式第1 (その1)

消火器具点検票													
名称						防火管理者						<input type="checkbox"/>	
所在						立会者						<input type="checkbox"/>	
点検種別	機器点検	点検年月日	年 月 日～		年 月 日								
点検者	資格番号	点検者所属会社	社名		TEL								
	氏名		住所										
点検項目	点検結果						措置内容						
	消火器の種類別							判定	不良内容				
	A	B	C	D	E	F							
機器点検													
設置状況	設置場所												
	設置間隔												
	適応性												
	耐震措置												
表示・標識													
消火器の外形	本体容器												
	安全栓の封												
	安全栓												
	使用済みの表示装置												
	押し金具・レバー等												
	キャップ												
	ホース												
	ノズル・ホーン・ノズル栓												
	指示圧力計												
	圧力調整器												
安全弁													
保持装置													
車輪(車載式)													
ガス導入管(車載式)													

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 2 消火器の種類欄は、該当するものについて記入すること。Aは粉末消火器、Bは泡消火器、Cは強化液消火器、Dは二酸化炭素消火器、Eはハロゲン化物消火器、Fは水消火器をいう。
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は不良個数を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

報告義務者以外の押印の印を削除

「資格・番号」は重複した情報であるため削除
意見№8

最終改正(案)

別記様式第1 (その1)

消火器具点検票													
名称						防火管理者							
所在						立会者							
点検種別	機器点検	点検年月日	年 月 日～		年 月 日								
点検者	資格番号	点検者所属会社	社名		TEL								
	氏名		住所										
点検項目	点検結果						措置内容						
	消火器の種類別							判定	不良内容				
	A	B	C	D	E	F							
機器点検													
設置状況	設置場所												
	設置間隔												
	適応性												
	耐震措置												
表示・標識													
消火器の外形	本体容器												
	安全栓の封												
	安全栓												
	使用済みの表示装置												
	押し金具・レバー等												
	キャップ												
	ホース												
	ノズル・ホーン・ノズル栓												
	指示圧力計												
	圧力調整器												
安全弁													
保持装置													
車輪(車載式)													
ガス導入管(車載式)													

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 消火器の種類欄は、該当するものについて記入すること。Aは粉末消火器、Bは泡消火器、Cは強化液消火器、Dは二酸化炭素消火器、Eはハロゲン化物消火器、Fは水消火器をいう。
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は不良個数を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。